

| 日            | 月                           | 火                    | 水                          | 木  | 金                           | 土                  |
|--------------|-----------------------------|----------------------|----------------------------|----|-----------------------------|--------------------|
|              |                             | 1<br>始業式<br>11:30 降園 | 2 園庭開放<br>平常保育<br>14:30 降園 | 3  | 4                           | 5<br>休園            |
| 6            | 7 集金日<br>としび会費・<br>アルバム(月組) | 8                    | 9<br>ぴよんぴよん<br>らんど         | 10 | 11                          | 12<br>休園<br>保育園運動会 |
| 13           | 14                          | 15                   | 16<br>お弁当の日<br>園庭開放        | 17 | 18お誕生日会<br>9月生まれの<br>お友だち正装 | 19<br>休園           |
| 20           | 21<br>敬老の日                  | 22<br>秋分の日           | 23<br>園庭開放                 | 24 | 25                          | 26<br>運動会          |
| 27<br>運動会予備日 | 28<br>運動会代休                 | 29                   | 30 園庭開放<br>内科検診            | 31 | そうめん流しは現在の感染<br>状況を鑑み中止します。 |                    |

夏祭り収益は、33,988 円、7月の廃品回収の収益は、4,568 円でした。

運動会テント代、発表会会場費となります。ご協力ありがとうございました。



【運動会について】

9月26日(土)に月組星組さんは運動会を行います。  
雨天の場合は9月27日(日)です。8時45分開始、  
11時終了予定となっております。  
※お車でお越しの方は、一軒につき一台と制限させて  
いただきます。詳細につきましては、後日お知らせ  
を配布いたします。

10月の予定

- 1日(火) 衣替え・交通教室  
歯科検診
- 8日(木) ミニ運動会(花組)
- 9日(金) 廃品回収
- 13日(火) 年長バス遠足(月組)
- 14日(水) ぴよんぴよんらんど
- 20日(火) 幼年消防交流会(月)
- 21日(水) お誕生日会

お知らせ

- ・ティッシュ1箱・雑巾1枚をおもたせ  
ください
- ・生活の記録をご提出ください



しんじゅようちえん 73-1523

今月のことば  
「ともにこれ凡夫」  
として  
自分を認め  
他人を認め  
支え合いたい  
ものです  
(大谷光真前門様)

今、世界中で、「自分さえよかったらいい」という自己中心主義を、「良し」とする風潮が高まっているように思います。「人間は皆、自己チュー(自己中心)だから、しかたがない」と開き直る人もいます。そんなことではダメだと分かっているも、その流れに逆らえずにいる私もいます。

仏さまの教えを聞くと、常に自己中心にしか物事を見ることが出来ず、自分にとって都合のいいものを求め、自分にとって都合の悪いものを排除している。そんな私の姿が見えてきます。

仏教では、そのような存在を「凡夫ほんぶ」と言います。「凡夫」とは、文字通りに受け取れば、「平凡な人」という意味ですが、仏教では「煩惱だらけの愚かな人」という意味で使います。「愚かな人」と言っても、普通に言う「愚かさ」ではなく、「真実が見えていない愚かさ」のことです。つまり、仏さまの教えを聞けば聞くほど、自己中心の見方から離れられず、「自分さえよかったらいい」と思ってしまう私の姿が、見えてくるのです。

では、そのような私たちは、どのような生き方ができるのでしょうか。立派な目標を立てても、それをなかなか実現できないのが、私たち凡夫です。しかし、「凡夫だから」と開き直るものではありません。

2013年(平成25)年 立教開宗記念法要(春の法要)でのご親教で第二十四代大谷光真ご門主様(当時)は、

「凡夫という自覚は、言い訳の言葉ではありません。『ともにこれ凡夫』として、自分を認め、他人を認め、支え合いたいものです」と述べられています。

「ともに凡夫」という所から、出発したいと思います。

合掌